

● 内政

１ 監査総監、政府支出の資金不正利用の大幅な減少を報告

監査総監は、２０２２年度の監査報告書を発表した。この中で、２０２２年度については不正利用が９７％減少したことが示されるとともに、政府の調達がほぼ競争調達に移行したことを示した。他方で、課題がある保健省について指摘をし、改善を求めている。（１０月４日付 News Diggers）

２ ルング前大統領、政界復帰を匂わせる

ルング前大統領は、新聞記者の政界復帰に関連する質問に対し、政界への復帰を匂わせる発言をした。（１０月５日付 News Diggers）

３ 大統領、ザンビアのデジタルイゼーションに意欲

ヒチレマ大統領は、１０月４日にザンビアで開催されたデジタルガバメント・アフリカサミットの際にて、ザンビアの経済発展のためにデジタル化を積極的に導入するとともに、既成慣習にとられないビジネスモデルの構築を呼びかけた。同席したトニー・ブレア元英国首相からも同様の意が表された。（１０月６日付 News Diggers）

４ 大統領、省庁事務次官級の人事異動を発表

ヒチレマ大統領は、省庁事務次官級の人事異動を発表した。外務・国際協力省、エネルギー省及び水産・畜産省の事務次官について、異動を命じた。（１０月８日付 News Diggers）

５ ザンビア医薬品・医療用品庁、エジプト政府からの支援薬品を受領

ザンビア医薬品・医療用品庁は、エジプト政府からの支援物資として、医薬品２４００万米ドル相当の物資を受領した。ザンビア国内では医薬品の供給が滞っており、この支援により国内の保健

所での必須薬品の供給可能率は９０％程度に高まる見通し。（１０月１７日付 News Diggers）

６ 保健相、ザンビア最大の課題は汚職と語る

マセボ保健相は、社会のあらゆるレベルに蔓延する汚職がザンビアにとって最大の課題であり、汚職文化の一掃のために地域社会の中での警察機構の役目が高まっていると表した。同時に、法の支配をより強めるために地域社会の住民にザンビアの法制度を知ってもらう必要があり、体制構築が必要と訴えた。（１０月１８日付 News Diggers）

７ 野党愛国戦線（ＰＦ）執行部、党大会の延期を発表すると同時にルング前大統領復帰論に反対の主要メンバーを停職処分に

野党ＰＦは、２０２１年の総選挙敗北後曖昧となっていた党の指導体制を決定する党大会について１０月末に実施を予定していたが、延期することを発表した。同時に、ルング前大統領の復帰論に反対の意を表しているとされる党内有力議員３名に対して停職処分を通告した。（１０月２３日付 News Diggers）

８ 追放された野党議員、野党 PF の臨時党大会を開催し党代表として選出される

項７で述べた追放された野党議員の一人であるマイルズ・サンパ議員は翌日１０月２４日に臨時の党大会を開催し、代表選挙の結果、野党ＰＦの党代表として選出され、新執行体制を確立した。（１０月２５日付 News Diggers）

９ ルング前大統領、政治活動への復帰を宣言

１０月２７日、ルング前大統領は政治活動への復帰を宣言した。声明の中でルング前大統領は、野党ＰＦの混乱を政府与党の戦略に依る民主主義の破壊と称し、野党の結集を呼びかけた。同時に、ルング前大統領は自身が２０２１年に選出された

2026年まで有効な党首であり、項8の選挙を党規約違反と評した。(10月28日付 News Diggers)

● 外交・対外関係

1 大統領、コンゴ民主共和国を公式訪問

10月2日、ヒチレマ大統領はコンゴ民主共和国を公式訪問した。ザンビア北部とコンゴ民主共和国南部を結ぶ道路橋梁整備及びワンストップ国境ポスの起工にコンゴ民主共和国チセケディ大統領と共に臨席し、両国の関係強化及び地域の安定化に向けた会談が実施された。(10月3日付 Daily Mail)

2 大統領、モザンビークを公式訪問

10月7日、ヒチレマ大統領はモザンビーク共和国を公式訪問した。モザンビーク北部のナカラ港改修完了式典に参加したヒチレマ大統領は、モザンビーク・ニュシ大統領、マラウイ・チャクウェラ大統領と会談し、ナカラ回廊の運営・開発と、国際競争力強化を目的とした回廊開発協定に3者で署名した。(10月8日付 Daily Mail)

3 大統領、南ア外相と会談

10月20日、ヒチレマ大統領は、ザンビア・南アフリカ間の外交協議に参加するため当地訪問中の南アフリカ共和国のパンドール外相と会談した。南ア・ラマポーザ大統領からの親書が手渡されるとともに、二国間関係の強化、エネルギー問題に関する議論が交わされた。(10月21日付 Daily Mail)

4 タンザニア大統領、ザンビアを公式訪問

10月23日から25日にかけて、タンザニアのサミア大統領は、ヒチレマ大統領の招待に応じ、ザンビアを公式訪問した。訪問中に国民議会で演説を実施したサミア大統領は、タンザン鉄道及びTAZAMAパイプラインの更なる有効化について述べた。同時に、ロビト回廊がタンザン鉄道・ダ

ルエスサラーム回廊とは競合しないと表しつつも、より緊密な二国間関係の構築を呼びかけた。(10月25日付 News Diggers)

5 大統領、SADC 臨時サミットにオンライン出席

10月31日、ヒチレマ大統領は、オンラインで開催されたSADC 臨時サミットに参加した。会議では、コンゴ民主共和国で今後展開予定のSADC 治安維持ミッション(SAMIDRC)の概要及びコンゴ民主共和国での東部での治安情勢について議論が行われた。(10月31日付 大統領府プレス発表)

(了)